

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.144

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後子供教室推進事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課			
総合計画体系				根拠法令計画など	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成	19年度	
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		生涯学習						
施策	1	生涯学習の推進						
基本事業	3	青少年健全育成の推進						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無			<input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無			<input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無		
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求			<input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求					

◎事業概要(PLAN)

目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちがスポーツ・文化活動や勉強、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		事業内容(R1)	①市内8小学校区で放課後子供教室を開設 ②地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的に開催 ③放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会の開催 ④安定した人材の確保を図るための方策の実施				
実施方針	① 地域の特色や人材を活かした様々な体験活動や交流活動を通して、子ども達の安全で安心な居場所づくりを進める。 ② 実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者・活動場所の確保を進める。 ③ 国の「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえて、放課後児童クラブとの一体的または連携した実施を進める。			当初からの変更点	新型コロナウイルス影響下における小学校の臨時休校期間中、放課後児童クラブと一体実施している放課後子供教室については、子供の居場所確保や運動不足解消、ストレス解消、心身の健康増進を図るため、臨時的に活動を追加した。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教室の実施回数	481	478	529	550	550	回
	2	教室の参加児童数	397	347	383	400	400	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	放課後子供教室利用者の延人数		9,587	10,198	9,200	9,300	9,300	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①8小学校区で開設 ②年度末に1小学校区閉校 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①7小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①8小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置	①8小学校区で開設 ②1小学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①9小学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	5,855	75	5,930	6,506	6,296

事務事業名	放課後子供教室推進事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①市内8小学校区で放課後子供教室を開設した。 ②各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を隔月計6回開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。 ③放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。 ④安定した人材の確保を図るため、地域コーディネーター及び指導者の謝金単価の引き上げを行った。 ⑤放課後子ども運営実行委員会を11月と2月に開催した。 ⑥新型コロナウイルスに伴う臨時休校期間中、放課後児童クラブと一体実施している放課後子供教室については、子供の居場所確保や運動不足解消、ストレス解消、心身の健康増進を図るため、臨時的に活動を追加した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	教室の実施回数	478	536	550	550	570	回
	2	教室の参加児童数	347	466	400	400	420	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	放課後子供教室利用者の延人数		10,198	14,656	11,000	11,000	11,400	人
	目標達成率(実績/目標)			159.3				%
事業費推移(円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		5,268,606	0	5,892,043	0	5,892,043	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	3,512,000	0	3,928,000	0	3,928,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		1,756,606	0	1,964,043	0	1,964,043		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス影響下においても活動を実施し、緊急事態の際にもその必要性和有効性が確認された。事業への認知・理解は年々高まっており、利用する児童も増加傾向にある。学校や児童クラブとの連携・協力も進んでおり、A評価とする。		
	目標	9,200	人				
	実績	14,656	人				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①利用者増加への対応や教室の継続運営のため安定した人材確保の方策が必要。 ②児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。 ③更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実情的な確認が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①現在開設している放課後子供教室の安定した運営及び更なるプログラムの充実を図るとともに、新たな放課後子供教室の開設や、放課後児童クラブとの連携強化に向けて、地域の団体・機関等と調整を行う。 ②実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。 ③放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。 ④人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。 ⑤安定した人材を図るため、謝金単価の引き上げを行う。			
	令和3年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に働きかけ、引き続き指導者及び活動場所の確保に努める。			